

9月13日(火)金沢ニューグランドホテル「銀扇」において、第1493回通常例会が開催されました。

冒頭の松尾会長の挨拶では、元石川県PTA連合会長の北川和也氏をゲストに迎えたことを紹介し、自身のPTA活動の経験からPTA活動は過渡期に来ているとの感想を述べ、その事に関する話を楽しみにしていると話をしました。また、小出進第一副地区ガバナーの例会参加に触れ、獅子奮迅の活躍と紹介し参加への感謝を述べました。

続いて、国際会長賞の授与式が行なわれ、プレゼンターの小出進第一副地区ガバナーから受賞者の堀岡昭夫元会長に表彰状が手渡されました。小出進第一



副地区ガバナーからはこの賞は過去、現在の役職によって自動的に付与されるものではなく、地域社会に

おいて並はずれた「思いやり」と「献身」を实践した「ライオン」の代表として推薦されると説明。推薦者からの「住んでいる地域社会、国際協会に大きく貢献するような模範的な行動によって、際立った働きをされた堀岡ライオンの行動を称えるものである」とのメッセージを紹介されました。

続いて、会員委員会委員長の内山祥一ライオンより会員拡大や会則について説明がありました。会則には「女性会員は認めない」とは書いてないが、長い歴史の中で当クラブには女性会員はいなかった。しかし今の社会において多種多様な人が必要と思う。過日会長経験者の意見を聞き、全員一致で「女性会員および、ハンディキャップをお持ちの方も含め会員増強会に努め、入会条件については特に制約は無くし、規約として文章化することはありません」との考えを確認し、本日の理事会でも「慎重ながら前向きに進める」ことで承認を得ました、と説明がありました。入会希望者の例会オブザーバー参加も検討し、会員委員会または幹事に申請をし、承認を経て参加を認めることにしました。また入会希望者の職業や経歴によって入会を否定することは原則無いということも確認、推薦人の責任が重要になる、と話をされました。ただし新入会員が現会員と同業者の場合は、その方が強く否定した場合に限って入会を否定することはあるかもしれない、とも説明がありました。会員増に向けて会員皆様のご協力、ご支援をお願いしたい、と締めました。



各種報告では、合同献血ご協力のお祝い、GO TO LIONS 登録のお祝い、卯辰山写生大会声掛けのお願い、の3件報告があり、続いて9月お誕生日ならびに結婚記念日を迎えられた方の紹介がありました。



続いて、元石川県PTA連合会長・北川和也氏によるゲストスピーチがありました。演題は「PTAの現状と社会の関わり」。自己紹介の中では3人の娘さんの



話をされ、子供は1人の人間であり、自分の分身では無い、思い通りにはいかない、個々の人間として尊重して付き合っていかなければいけないと話されました。

またPTAの歴史と取り組みに関して説明があり、教科書の無償化、給食の制度化、学校の建設等を挙げられました。教育予算は文科省ではあるが財務省との交渉には何年もかかる、財務省は「子供の数が減るのだから予算を減らすのは当たり前」と言うが、増員の成果もあったとのことでした。最近の活動としてエアコンの整備、トイレの修理、教員の働き方改革等の成果も紹介されました。その後各種報告事項の後、テールツイスター嶋崎隆之ライオンよりドネーションの発表があり例会が終了しました。

## アクティビティー便り

地域環境委員会より9月4日(日)に行われた第一回卯辰山清掃事業の報告です。



当日メンバー全員の熱意により晴れ上り、開始1時間前の5:00より堀岡前会長、松尾会長の清掃が始まり、それに追従するように5:30頃より集まり始めたメンバーも清掃に参加していきました。

10月1日より当地で始まる『青少年卯辰山写生大会の会場の1つとなる公園を綺麗にするぞ!』

との意気込みが伝わってくるようなスタートでした。

6:30に終礼を行ない、トータル1時間30分の清掃を無事終了いたしました。

参加者26名でした。ありがとうございました。

(記事 計画委員会)